

我が社の運用フローにジャストフィット ワークフローフィールドでストレスのない電子化を実現

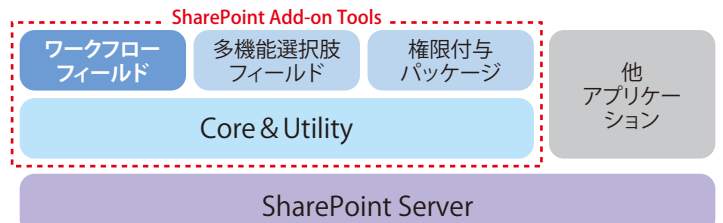
中外製薬株式会社様は、1925年の創業以来、医薬品のリーディングカンパニーとして、私たちの健康を支えてきました。

現在もまた、ロシュ・グループの最重要メンバーとして、国内外において革新的な新薬を提供することで、その地位を確固たるものとしています。

中外製薬様が SharePoint 上でのワークフローシステム構築を模索していた時、私たちが提案する「ワークフローフィールド」は、どのように映り、どのように感じ、導入に至ったのでしょうか。

今も順調に稼働している本システムがいかんにしてより完成した製品に育ったのか、その開発秘話をご紹介します。

ワークフローフィールドシステム構成図



※SharePoint Add-on Tools テックインフォメーションシステムズが販売しているSharePoint の機能拡張アドオン製品群です。ワークフローフィールドだけでなく、他の製品も組み合わせることでさらに利便性が向上します。(中外製薬様では、ワークフローフィールドの他に、『多機能選択肢フィールド』『権限付与パッケージ』が導入されています。)すべての製品のベースとして「Core & Utility」があり、各製品の親和性を高めています。

やりたいことができると、評価版で確信

Q : 導入されるきっかけとして、文書管理や変更管理のシステムが無く、必要に迫られて検討されたとお聞きしていますが…。

岡村: システムが無かったわけではなく、簡単なグループウェアは使っていました。しかし、添付されている文書や変更記述の履歴が残らず、最終の変更日付けは分かっても、いつ・どこに変更があったかが分かりませんでした。そこで、項目ごとの変更記録がきちんと残るものを、と考えました。

Q : SharePoint上で実現することが前提ですね。

岡村: まずSharePoint標準機能のワークフローでやってみましたが、思い描いたように実現することが難しく…。

山田: SharePointの機能ですと、肝心のワークフローの履歴がドキュメント上に残らないんです。そうすると、環境が変わった場合、そのドキュメントを取り出した時に履歴がついてこないんですね。それで、SharePointのワークフロー機能では実現できない、という結論になりました。

Q : SharePointからのカスタム開発も視野に入れられていたということですが、まずは当社のパッケージ製品「ワークフローフィールド」をご紹介します。

岡村: スペックを最初に見て、我々がやりたい事の7割くらいはできるだろうと思っていました。そして評価版を実際に触ってみて「これならできると確信し導入を決めました。

さらに、我々の要望が、一般の企業であればどこも希望するような機能だということで、製品のバージョンアップの際に標準機能として取り入れてもらえました。製品の立ち上げ時期だったということと、我々が早い段階のユーザーだったことが功を奏し、相乗効果を得たと思います。

管理者・利用者の双方から、評判は上々 ほど良い連携が、使いやすさのポイント

Q : 実際にワークフローフィールドを導入・運用していただいておりますが、あらためてご感想をお聞かせください。

岡村: 日々の業務で出てくる課題を「課題管理」、その課題の中から発生する変更点を「変更管理」として処理していますが、ひとつの課題から複数の変更管理が生まれたり、その逆の場合もあります。課題管理を回していきながら、連携して変更管理を回し、その変更が終了すると課題も一緒に終了される形になります。その「連携」の働き具合がポイントで、あまり密な連

携を取ると縛られ過ぎて動かしにくい。あまりにも粗な連携だと二重入力という形になって手間がかかる。密でも粗でも、どちらの場合も使いにくくなってしまいます。ワークフローフィールドなら、この連携がちょうどいい具合に作れるんですね。ここが利用者に非常に評判の良いところ。この連携がいい具合に取れているので、利用者は一度入力したものを次のフローで上手く利用して回していけるのです。どの課題番号とどの変更番号が結びついているのか、といったところも含めてですね。ただし、連携はこのあたりで止めておいて、最後にはそれぞれの課題・変更が独立してクローズできる。こんな具合の連携がちょうどいいんです。また、課題や変更を検討していく中で、追記をしたり添付ファイルをつけたりしますが、そういう履歴もきっちり残りますし、実施承認の最終日付や承認者もちゃんと残ります。**承認フローについても、元々あったフローに合った形にできる、流れを作れる、というところが非常に良いですね。**

山田: ワークフローフィールドなら、問題やリクエスト・要望がトリガーになって、それが解決・実現できるところまでがすべて見通せます。これまでやってきた手順とそれほど変わらない形で、しかも適度な厳しさをやれるのです。

Q : Office文書のプロパティに履歴を残したい、というリクエストには、かなりのごだわりを感じました。

岡村: はい。すべての変更履歴、承認履歴が残るように作っていただきました。大事な部分ですので、そこは容易に改ざんできないように、我々も確認しながら進めていきました。ただ、似たような文書を作るときには、その文書を雛型にしたいわけ。その時に、ゼロからコピー、スクラッチで作るのではもったいない。ワークフローフィールドから引き抜いて、システム管理者権限でプロパティをリセットできるような強力な機能も付加してもらいました。

山田: 製品を売りっぱなしにするのではなく、十分なサポートで、我々のリクワイアメントを吸い上げてもらって、製品の中でどう実現するかを一緒になって考えていただきました。このことが、非常に厚い信頼関係を築けたとともに、融通のきく使い勝手の良い製品が生まれた所以なんですね。また、システム管理者権限でプロパティリセットできる機能の役割は大きかったですね。文書をコピーして作ることはよくあることで、「もう承認済みなので変えられません」では雛型にできません。権限でのコントロールや組み合わせで作ってもらった機能は、開発の担当者から非常に評判が良いんです。逆にこれができなくなると、大変なクレームになりそうです(笑)。



ITインフラグループ
岡村真吾マネージャー



ITインフラグループ
山田 稔 課長

ユーザープロフィール

代表者 永山 治
 本社 東京都中央区日本橋室町2-1-1
 創業 1925 (大正14)年3月10日
 設立 1943 (昭和18)年3月8日
 資本金 729億6600万円 (2011年12月31日現在)
 従業員数 6,779名 (2011年12月31日現在)
 事業内容 医療用医薬品の製造・販売・輸出入
 国内拠点 研究所/3拠点、工場/3拠点、支店/11支店
 公式HP <http://www.chugai-pharm.co.jp/>



岡村：プロパティは、ワークフローフィールドのベースになっているShare Pointの基盤が変更されても消えません。文書を他のサイトに持って行っても消えないんです。

山田：ワークフローを回す時は、「OK」とか「NG」とか「差し戻し」などのボタンをつけますが、このボタンが結構フレキシブルなんです。いろいろなボタンにアサインできているファンクションが自由に設定できたり、ファンクションと権限とが連動していたり…「こういうふうに回したい」という要望が、比較的簡単に形にできました。**開発で作る場合は、こういうところが一番コストがかかるんです。ですから、かなりのコストセーブになりましたね。**

期待以上の働きをしてくれる ワークフローフィールドに大満足

Q：今後の展開としては、どのようにお考えですか。

岡村：会社は、グローバル化はもちろん、勤務場所・勤務形態など多様な広が

りを見せています。場所を問わず、ひとつのシステム運用に関わる人がどこでも作業をしていけるような状況が必要になってきています。それは社会全体がそうなっているのだと思うのですが…。そんな時に、WEB会議などでこのワークフローフィールドで文書を一緒に見ながらレビューして、「これでOK」などとその場で承認して回していくことができればいいな、と思います。働く環境が多岐に分散する中で、課題管理・変更管理・文書管理などは、ワークフローフィールドがあれば上手くいくのではないかと。そういう時代が来る前に、すでに準備ができていっているというのは、当社にとっての強みなのではないでしょうか。

Q：では最後に、ワークフローフィールドの魅力をお話をお願いします。

岡村：ちゃんとしているけど、良い意味で遊びがある。人間味のあるフローが組める製品です。**人が製品の仕様に合わせてではなく、製品が人の従来の行動に合わせてくれる、一切ストレスを感じる事が無い製品です。**

山田：第一印象以上の活用ができています。ワークフローフィールドを選択したことに大満足です。

Q：どうもありがとうございました。

ワークフローフィールドだから、できた！

◆ SharePoint と一体化した操作感

- SharePoint 標準の編集、表示画面で承認行為が可能
- 標準ビューを利用したグループ化、フィルタリング

◆ カスタムリスト、ドキュメントライブラリ両方で利用

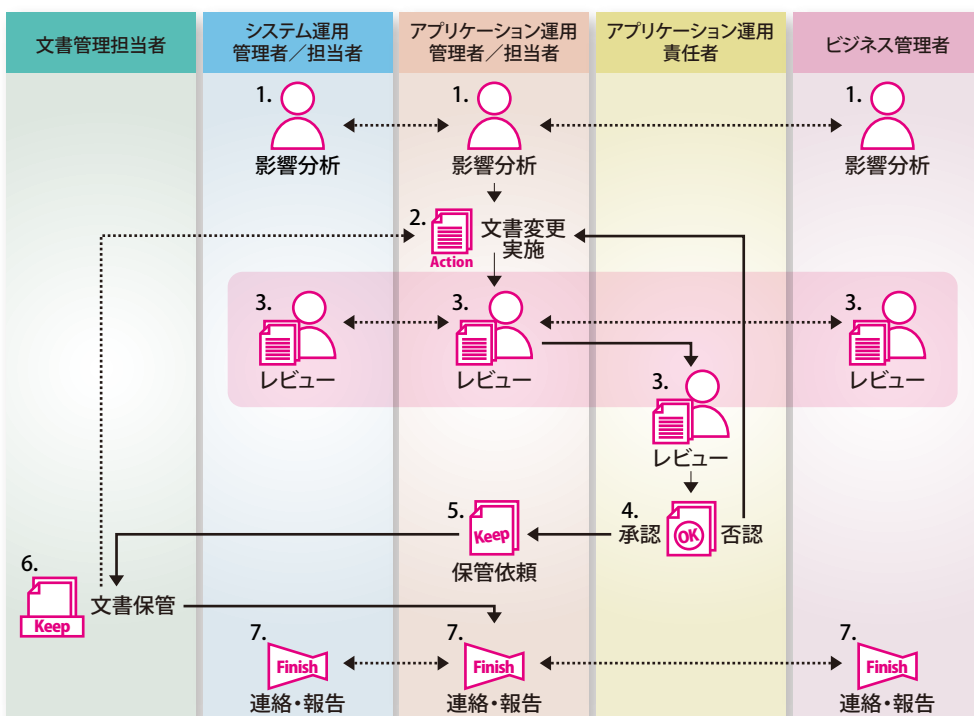
- ドキュメントライブラリでの対応
 - ・申請済みのドキュメントを別のフォルダに移動する
 - ・承認済みのドキュメントファイルを使いまわして再申請
- テンプレート化して横展開が可能

◆ 権限マスターを利用したアクセス権限設定

- フローのステータスごと、アクセス権限種類別に権限を付与するグループを設定
- エージェント機能で既存アイテムの属性を一齐に再設定

◆ SharePoint 標準ワークフローとの連携

- ワークフローフィールドのアクションから標準ワークフローを実行することで、標準の機能を活用することが可能



開発者コメント

・中外製薬様には、ワークフローフィールドを実際にご利用頂き、多くのご意見・ご要望をいただきました。どのご要望も中外製薬様だけでなく、他のSharePointユーザー様でも求められるような要件だったため、良いチャンスと考え、製品のバージョンアップに組み込まさせていただきました。

・中外製薬様と検討を重ね、ご要望の中から汎用的な製品仕様の策定を行うことで、中外製薬様のお役にもたち、また開発側でもより良いパッケージ製品にすることができる『Win-Win』の関係を築けたことは、何よりも得難い貴重な経験をさせていただいたと感謝しています。